

平成21年死亡災害発生状況

福井労働局

番号	発生日	業種	事故の型	起因物	年代	職種	発生状況
1	1月	運輸交通業 (道路貨物運送業)	交通事故	フォークリフト	60歳代	運転手	客先の工場脇にある市道にトラックを止め、フォークリフトを用い製品をトラックに積込み、フォークリフトを工場内に戻そうとしたとき、運転を誤り、路肩(法面の高さ約6m)からフォークリフトごと市道沿いの川(水深約0.4m)に転落した。
2	3月	建設業 (機械器具設置工事業)	その他	その他 (起因物なし)	40歳代	設備機械工	勤務を終えて帰宅し、就寝中に急性心筋梗塞を発症し死亡した(過重労働による労働災害と認定されたもの。)
3	6月	製造業 (その他の非鉄金属製造業)	はさまれ・ 巻き込まれ	その他の動力 運搬機	20歳代	製造工	金属を溶解する設備において、金属塊を炉口まで自動搬送・自動投入するための金属製のカゴ(約1.3m×約1.3m×約1.3m、重さ約1.4t)の底蓋が閉まらなくなった。 このため、被災者は、当該金属製のカゴを溶解設備脇の点検場所に移動させて、カゴの中に入って補修作業を行っていたところ、突然カゴの底蓋が閉まり胸部を挟まれた。
4	8月	林業 (木材伐出業)	激突され	立木等	40歳代	伐採夫	林道に、ヤーダー機能を備えたプロセッサを据え、谷側の杉林の間伐作業(伐倒はチェーンソーで行い、ヤーダーで引き寄せていた。)において、伐倒した後に杉の木が谷底へ滑落しないよう、伐倒前に、その木(胸高直径約40cm、樹高約10m)にヤーダーのワイヤロープを掛けて伐倒したところ、木が倒れる際にワイヤロープが張り、退避した方向に横ブレし、その下敷きとなった。
5	9月	建設業 (河川土木工事業)	崩壊・倒壊	地山、岩石	40歳代	土工	橋梁整備工事において、元の橋脚の鋼管杭を撤去しようと、鋼管杭の周囲を約4mの深さにわたって掘削して簡易矢板を打ち込んでいたところ、掘削箇所には湧水が溜まったために排水ポンプを使用して排水を行った。 被災者は、掘削箇所において、当該排水ポンプに砂が詰まるのを防ぐために、ポンプ周りの砂を取り除いていたところ、矢板の打っていない掘削面が幅およそ3mにわたって崩壊し、土砂の塊が被災者の頸部に当たりその後下半身まで埋まった。 被災者は、頸椎を損傷し、災害発生から約4ヶ月後に死亡した。
6	8月	運輸交通業 (道路貨物運送業)	分類不能	分類不能	30歳代	運転手	被災者は、災害発生地まで食品運搬用タンクローリー車を1人で運送し、運送先で食品をおろし、午前10時40分頃からタンクローリー容器内の清掃作業を行っていたが、午後2時頃に容器内で倒れているのが発見され、死亡が確認された。
7	9月	建設業 (トンネル建設工事業)	はさまれ・ 巻き込まれ	高所作業車	30歳代	電気機械工	トンネル工事現場において、坑内の換気用風管の延長のための準備工事として、トンネル天井部にワイヤを張ろうと高所作業車の作業床上で作業していた。 被災者は、高所作業車を操作して被災者の背中方向に進めながら作業していたところ、当該作業床の手すりごと、天井にぶら下がる形で設置されていた測量架台との間に胸を挟まれた。
8	9月	運輸交通業 (道路貨物運送業)	交通事故	トラック	40歳代	運転手	商品配送のため、普通トラックを運転し国道を走行中、大型タンクローリーと正面衝突し、約1時間半後に死亡した。
9	9月	製造業 (その他の金属製品製造業)	崩壊・倒壊	クレーン	20歳代	製造工	工場建屋外部にある橋形クレーン(つり上げ荷重2.8t 床上操作式)を用いてH鋼を運搬中、橋形クレーンが倒れその下敷きになり死亡した。
10	10月	商業 (燃料小売業)	おぼれ	棧橋	50歳代	配達員	タンクローリー車から、棧橋に係留中のプレジャーボートへの給油作業において、誤って海に転落し水死した。
11	12月	その他の事業 (警備業)	交通事故	乗用車	20歳代	営業	警備の打合せのため、会社から現場に向けて乗用車で国道を走行中、対向してきた大型トラックと正面衝突した。
12	12月	その他の事業 (運転代行業)	交通事故	乗用車	40歳代	運転手	客の乗用車に後続し、代行随伴用自動車(軽乗用車)を運転して県道を走行中、道路の中央分離帯に衝突し、約1時間半後に死亡した。